

平成 27 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	はすの会
活動テーマ	愛する人を亡くした人を支える遺族会の運営。上智大学グリーンケア研究所特任所長である高木慶子先生による「悲しみが変わるとき」と題した講演会実施。参加者による分かち合い実施。



遺族会「はすの会」では年に 2 回、著名な講師を招いての講演会およびその後の分かち合いの会を実施しています。毎月の定例会に来られている方の参加が目立つ中、著名な先生の講演会ということで初めて参加される方もいらっしゃいます。2015 年度はグリーンケアの第一人者である高木慶子先生をお呼びしました。先生ご自身の家族との別れやそれによる悲嘆のこと、またターミナルケアや遺族会での活動から得られた貴重な体験を話されました。参加者はご自分の人生経験を思い出し、重ね合わせながら聴いていらっしゃったようです。

核家族化や地域社会における人間関係の希薄化が進む現代社会では、大切な人を亡くした心の苦しみを親しい人と分かち合うことが難しくなっており、孤立に陥る人が少なくありません。死別は誰もが経験する喪失ですが、心の深いところで人と繋がる機会が少なくなっています。私たち「はすの会」では普段人には言いにくいご自分のありのままのお気持ちを話していただき、また同じような仲間とお気持ちを分かち合うことで、死別という深い苦しみの中でも生きていけるようサポートしています。2012 年 3 月に設立して以来、参加者の心が少しずつ癒されていく姿をスタッフは目にしております。悲しみが完全に消えてなくなることはありませんが、ご自身の中に新たな気づきが生まれたり、死別後も続く亡くなった人との絆を大切にされていたりと、遺族の方のさまざまな姿に私たちスタッフも心が揺り動かされ、心の繋がりを感じております。